

【RTA】 錨と溝で人理保 護√ 【Fate】

財団職員

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

FGORPGの裏ワザ外伝、「2004年、冬木にて」の特殊エンド攻略RTAです。取り敢えず、後から続く人用に参考程度の記録をば…

SCP Foundationはクリエイティブ・コモンズ表示—継承3.0ライセンス作品です(CC—BY—SA3.0)

http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/deed.ja

目次

キャラメイクロード	1
キャラ確認	6
時計塔入り	16
時計塔2年経過+	26
サーヴァント選定	34
武器屋	42
下準備	52
召喚	64

キヤラメイクロード

どうも。

今回は大人気シリーズ【fate】の【Fate／Grand Order RPG】RTAをやっていきたいと思います。

【Grand Order RPG】は、これまで沢山の兄貴達によって幾度となく走られてきたので、いまさら私の様な新参者が入り込める隙がありません。

その中になんとかして入り込めないかと考えたところ、1つの発見がありました。

殆どのRTAが「ゲートイアを倒す」または「異星の神を討伐する」、つまり第1部もしくは第2部クリアを目的に走られている。

もちろん【所長生存√】やら【ロマニ生存√】などの縛りはありますが、それらを含め大抵の場合、前述した2箇所がタイムマーストップ場所になる訳です。

なら逆に「ガイアもアラヤもくそくらえー！ 大惨事を未然に防ぐRTAってないの？」と探した結果……ありませんでした。やったぜ。

てなわけでレギュレーションを勝手に作成、競技人口1人のRTAを作成しました。

名付けて「人理保護√」です。

さてこの√なのですが、メインメニューとあるコマンドを打ち込む事により、1984年スタートで2004年の聖杯戦争を体験できる、「2004年、冬木にて」という外伝があるのですが、今回はこれでやっていきます。

理由は簡単、この√は2004年の聖杯戦争…つまりソロモン君がネットアイドルオタク堕ちすることとなった遠因に介入するからです。聖杯戦争少なスギイ！もつとやってくれよ。（貪欲）

ちなみに計測開始はコマンドを打ち終わりロードが始まった瞬間、計測終了は根源に【錨】をぶち込んで【溝】を掘り抜き終わった後に開始されるエンディングが始まった瞬間です。

というわけで、はい、よいスタート。

性別は男性を選びます。

ちなみに女性だと魔力量に補正がかかりますが、男性だと精神力に補正がかかります。今回は恐怖が一瞬の命取りになるので男性一択で安泰です。

名前は入力速度を考慮して『ほも』にしたい所ですが、今回はそうもいきません。今回の名前は『シャンク・スクラントン』とします。

勘のいい財団職員なら、計測終了のタイミングと名前では何か気づくかもしれません。

さて、ロードという名の乳児期〜少年期を待つ間、このRTAの説明をしたいと思います。まず。

開始前に話した通り、このRTAは2004年に発生する聖杯戦争に介入し、根源に到達することが目的です。

『おい、待てい。肝心の計測終了はどうしたんだゾ?』と、智将っぷりを発揮する視聴者が大多数いると思いますが、安心してください。

まずこの世界の魔術師には『起源』というものが存在します。要は属性見たいなものです。

そして今回はその中でも【錨】と【溝】という2つの起源が必要となります。財団職員の方ならもう気づくでしょう。

どういわけか知りませんが実はこのゲーム、かの有名なSCP Foundation

ion」とコラボしている事がここ最近判明しました。運営は何を考えているんだ…ともあれそこで「スクラントン現実錨」と「シヤンク／アナスタサコス恒常時間溝」というチート紛いの機械を起源の効果で再現する事により、人類史を改変から保護する、というわけです。

ちなみに『SCP Foundation』ってなんぞや？ 食えるのか？』という方々に説明しておきますと、海外のネット掲示板発祥の『怖い写真に怖い設定を付与しよう』という、どこかやばい方々によつてスタートした活動で、現在世界中に支部が出来るコミュニケーションサイトです。

そのストーリーは色々とお奥が深く、かなり怖いものもあれば感動するもの、クスツと笑ってしまうものまであります。

SCP知らないという人でも「クソトカゲ」やら「アベル」やら「ペスト医師」というのを知っている人もいるでしょう。

というわけで話を戻しますが、名前をそれぞれの開発者から名前を頂戴する事により、これらの起源を得られる確率がそれぞれ10倍程上がります。

とは言え得られる確率がそれぞれ何千万分の一、そして同時に起こり得る事象なので累乗されて何千兆分の一、確率の上昇で何十兆分の一、そして必ずしも起源が2つ以上

獲得できるとは限らないので、ここから気の遠くなる作業が始まります。もうやだ。
 (114514敗)

ちなみに起源は2つとも必要で、【錨】が欠けるとゲーティアくんによる人理焼却、【溝】が欠けると異星の神による地球白紙化が起こります。なのでこれさえ達成できれば後は安泰です。

FGO本編？ねえよ、そんなもん。

あとこのRTA、起源が「スクラントン現実猫」とかのせいで【猫】になったり、【景気】のいい「キー」のせいで【倍数】になったり、【緋色の鳥】のせいで【意識】になったり、超極稀に【機械仕掛けの神】^{デウス・エクスマキナ}になったりします。

起源に【機械仕掛けの神】^{デウス・エクスマキナ}が来た時は、人理焼却があらうと白紙化があらうと、自分が生きている限り【機械仕掛けの神】^{デウス・エクスマキナ}によって人類が復活するので、自衛の術さえあれば他が弱くても勝てます。チートや！チーターや！（1勝）

他にも【意識】だったらゲーティアくんや異星の神を【夕暮れよりも赤い緋】に引き込んで精神をモグモグしたり、【倍数】だったら物増やしまくって地球をブラックホール化したりできます。【猫】だったら？知りませんね…

てな訳でロードが終わらないので、今回はここまで。次回を待て！

キャラ確認

暗転画面から動かないRTA、はーじまーるよー。

さて前回はロードが完了せず、そのまま終わりましたので、今回はここから再開です。てかロードがまだ終わらないんですけど……あのー、すみませーん、まだ時間かかりそうですかねー？

…… ようやつとロードが終わったみたいです。

まあこの外伝は毎回の如く初回のロードが長いのでデフォだよデフォ。

>朝の日差しがカーテンの隙間から漏れ出してくる。

>どうやら机に向かったまま眠ってしまったようだ。

始まりました。が、まだここでは操作できません。

ですが自室の感じを見るに魔術師の家系みたいです。それとそれなりに機械器具がある所を考えると、現世の科学社会にも上手いことマッチした家系のようです。まず第一関門突破。

>机に開かれた魔術書を閉じて本棚へしまい、机の上を片付ける。

…… なんかあの魔術書の表紙のロゴ、見たことある気が…… LCかな？ まあいいや、

特に関係ないでしょう。

ここでポイント。

先ほど机の上を片付けるイベントがありました。ここで片付けると【綺麗好き】のスキルが、片付けないと【粗暴】のスキルが手に入ります。

【綺麗好き】は敏捷のパラメーターが上がりやすく、逆に【粗暴】は筋力のパラメーターが上がりやすくなります。

今回は【綺麗好き】の様ですね。

>あなたは朝食を食べに階下へ降りた。

>リビングの戸棚には家族の写真が飾られている。

ここから操作可能になります。

どうやら彼は独り身な様です。これは好都合。

さて、メインメニューが開ける様になったので【状態】から起源を確認しましょう。

【錨】来い… 【溝】来い… 【錨】来い… 【溝】来い…

【状態】

プレイヤー名：シャンク・スクラントン

筋力：E

【ただいま画面が乱れております。今しばらくお待ちください】

ふう：：

失礼、取り乱しました。

いやー待てば来るもんですねえ…。これまで114514敗している身にとって、これはアツパードラッグレベルの快感です。やったことないけど。

さて、望み通りの起源が来て、なんか変なものまで含まれてるけど…。変なもの？

しかも魔力：Bはまだわかるけど、耐久：Bーってマテヤ。もう一回確認しましょう。

【状態】

プレイヤー名：シヤンク・スクラントン

筋力：E

耐久：B―

敏捷：E+

魔力：B

幸運：C

宝具：―

起源：【錨】・【溝】・【善悪】

所持スキル：【綺麗好き】・【5／710―JP―J】

装備：なし

所持スキル：【綺麗好き】・【5／710―JP―J】

（。ド。）・・・

（つド（）ゴシゴシ

(; | ,
 ° Д °) | .
 : :
 ! ?

【 5 / 7 1 0 | J P | J
 【

(; ° Д °) (° Д °)
 つ Д С () ゴ シ ゴ シ ゴ シ

【 5 / 7 1 0 | J P | J
 【

えっ、ちよつ、ちよつと待て。これ勝ち確なのでは？

オリチャー必要なくなつたレベルでとんでもないことが起こってるんですけど。

落ち着け：：落ち着け：：心が穏やかでないとRTAは達成できない：：

：：落ち着いたので、説明を再開します。

ただいま所持スキルに生えていた【5／710—JP—J】は、【SCP—found
ation】の日本支部におけるジョークオブジェクト【SCP—710—JP—J】の
極意を極めた伝承者へ贈られる最上位の段位クリアランスです。

さて【SCP—710—JP—J】なのですが、これは財団日本支部の職員が人間を
辞める第一歩として踏み出す、【財団神拳】という科学的根拠に基づいた格闘技を指しま
す。

この【財団神拳】には、【原子核構造の崩壊を起こすパンチ】【確率論に基づく攻撃回
避法】【量子論によるすり抜け歩法】など頭のおかしい奥義が数多く存在しています。

はつきり言いましょう。

マスター相手なら確実に勝てる。サーヴァント相手でも、取り敢えず死ぬ事はほぼな
いと思つて良いでしょう。

まさか、既に人間をやめているとは…

さて嬉しいサプライズもあり、朝食を済ましたので話を戻します。

どうやら家自体はロンドン郊外にあるみたいなので、ほぼほぼ時計塔に入学すると見て間違いなんでしょう。

そして現在は2001年の春頃です。

冬木で聖杯戦争が行われるのは2004年の春頃なので、それまでの3年間で時計塔で修練と交友関係の構築を行います。

所属するのは現代魔術科、後は天体科に顔を出すくらいで良いです。

現代魔術科に所属する理由はもちろん、「グレートビッグベン☆ロンドンスター」先生にケツ持ちしてもらったためです。多分3年間で問題を起こしまくるので。

まあ、他にも問題児は多いので、十分に胃を痛めてもらいましょう。（無慈悲）

実際のことを言うと、3年間はプレイヤーはあまり関わらないのでなんとも言えないんですけどね。

あと天体科に顔を出す理由は2004年の聖杯戦争でカルデア前所長の前所長、つま

りマリスビリーおじさんと協力関係を結べる可能性が上がるからです。

マリスビリーおじさんのサーヴァントは、もちろんソロモンくんなので協力関係が結べればかなり進行が早まります。

あと上手いことやると、ちっちゃい頃のオルなんとかさんにも会えます。ロリ好きは必見らしいですよ？

というわけで机の上に時計塔からの招待状を見つけたので、今回はここまで。

また次回お会いしましょう。

時計塔入り

財団神拳でサーヴァントを倒したいRTA、はーじまーるよー。

前回は時計塔から招待状が来たところで終わりました。

なので今回から3年間の時計塔パートが始まります。やる事は前回お話ししたので、まだ見てない方は前回のご視聴をお願いします。（露骨なステマ）

>あなたは招待状に従って、大英博物館へやって来た。

>…なにやら視線を感じる。

さて、大英博物館に場面が変わりました。

時計塔は大英博物館の館内に入り口があり、地上部分もありますが、大半の部分はロンドンの地下に構内が広がっています。

だから、大英博物館に来る必要があつたんですね。

ちなみになぜ視線を向けられているかと言うと、街中に鞆と一緒に道着一式を持って来たからです。どうやら英国人にとっては物珍しいらしい様です。

>あなたは館内に入り、受付に招待状を提出した。

>受付はあなたに一枚の紙を手渡した。

>あなたは大英博物館並びに時計塔の入校用パスを手に入れた。

はい、パスを手に入れました。

取り敢えず今の所はこれで十分です。まあ現代魔術科に所属した後はほとんど顔パスなんですけどね。

それでは、時計塔へ入りましょう。

>あなたは階段を降り、メインホールへと足を踏み入れた。

>メインホールに見覚えのある黒い長髪の男と、黒いフードの人型が見える。

… くん？ちよつと待つて。

fat eシリーズにおける黒い長髪の男性キャラってウェイバーしかいないし、何よりあの隣のフードってグレイなんじゃ…

「やっと来たか、シヤンク。待ち侘びたぞ」

>男は眉間に寄った皺を解きほぐして目を開く。

>あなたは「やあ、ロードIIエルメロイ。息災かい？」と声をかけた。

>彼は嫌そうな顔をしている。

「……II世だ」

……
うそやん。

えーちよつと予期してませんでしたね【時計塔講師√】とか。こんな wiki に

載つて無かつたんですけど。

しかしこれは少し好都合かもしれません。

元々現代魔術科に所属するつもりでしたし、これで他の学部から無茶をつけられる心配はほぼ皆無ですね。

まあ、あと挨拶回りで天体科に行つておきましょう。

……ですが本当に予想できませんねこのゲーム。【財団神拳伝承者】だと思ったら、時計塔臨時講師。どんな生き方をしたらそんな事になるのか……

……はい、気持ちを切り替えましょう。

とりあえず現代魔術科の領域までやつて来ました。既にエルメロイイ世は顔パス用の書類を作成してくれていたのです、受付で貰った入校用パスが無用の長物となりません。はあくつつか……どうやらこのシーンはスキップ禁止な様です。どうなつてんだこれ。

＞隣を歩いていたエルメロイイ世が口を開く。

「お前には現代魔術科の臨時講師、武闘場の管理をしてもらおう」

武闘場は、劇中で遠坂とエーデルフェルトが所構わず粉碎していた、柱が乱立する所

ですね。

【時計塔生徒✓】だと、そこで魔術格闘戦を限界まで行えるので、ブートキャンプ称してひたすら喧嘩を売りまくって戦い、パラメーターをYAMASODACHIレベルまで上げる……というプレイをする猛者がRTA走者で数人ほどいます。何やってんだあいつら……

>あなたは了解の旨を伝える。

>エルメロイII世の口角が少し上がった。

……？

えつ、今のは何？

…… まあいいや、サア行くか。

取り敢えず割り当てられた講師室に着いたので、荷物を置いて天体科に挨拶に行きましょう。(移動シーンなど) フヨウラ！

く伝承者移動中く

天体科に着きました。

途中生徒に呼び止められました。挨拶回りに来た事を伝えると彼らのパスで通してもらえました。お前んとこの警備ガバガバじゃねえか……まあ、こちらからすれば好都合なんですがね。

早速学部長室へ乗り込みましょう。ノックしてもしもしーし！

「ん……ああ、空いているよ。誰かね？」

「あなたは新任の講師であること、挨拶回りに来たこと伝えた。

「おや……そうか、入りたまえ」

では入りましょう。

ちなみにここでノックしないと印象が悪くなるので、後がめつちや面倒になります。

「あなたは部屋に入った。

「正面に位置する執務機に向かい、スラリとした中年の男がこちらを見ている。

「よく来たね。私はこの天体科の君主、マリスピリー・アニメスフィアだ。よろしく頼む

」

はい、このおじさんが今回のRTAのキーパーソンである『マリスベリー・アニメスファイア』。

最悪いなくても何とかありますが、いるとRTAの進行度が段違いに楽になります。ここは『自己紹介を返す』の1択です。

＞あなたは自己紹介を返した。

＞どうやら悪くない印象を与えた様だ。

「君がかのロードIIエルメロイIII世の旧友か…こちらの生徒が武闘場で迷惑をかけるかもしれないが、大目に見てやってくれ。

それと… マリー、こっちに来なさい」
「なに？お父さま」

＞隣の部屋から白髪の女の子が出て来た。

はい、所長（幼女）が出て来ました。

どうやら運が良いですね。逆に言えばどうでも良い所で幸運を使っていますか…

「この子が私の一人娘のオルガマリーだ。マリー、挨拶しなさい」
「オルガマリー・アニメスフィア、です」

かわええ…ハッ！

いかん、ロリコンになる所でした。あぶないあぶない…

取り敢えずこちらでも挨拶を返しましょう。

よろしくお願いしナス！

>あなたはオルガマリーに挨拶を返した。

>どうやら悪くない印象を与えた様だ。

さて、こんな所で天体科をお暇しましょう。

初対面で長居するとか明らかに心象を悪くして、今後のタアィムに影響するので。

>あなたは自室に戻ると伝えた。

「おや、もう行くのかい？ならエルメロイⅠⅠ世によりしく伝えてくれ。無理をしないようにな」

> マリスビリーはあなたに何かを手渡した。

> あなたは天体科のパスを手に入れた。

天体科のパスが手に入りました。

これは現時点での交友度がD以上の判定だと、確定でもらえます。初期値はEなのでそこまで難しくありません。

天体科については、後で交友関係の構築にちよくちよく遊びに訪れる位で十分です。では、帰りましょう。

さて、自室へ戻って来ました。

ここで少し情報の整理を行います。箇条書きとなりますが許して。

- ・ 役職は臨時講師と武闘場の管理者。
- ・ ロードIIエルメロイII世とは旧友関係。

・マリスピリーおじさんとの交友度はD以上。

：これは良い風が吹いていますね。この調子でいけば、中々良い記録が出るのではないのでしょうか。

てな事で今回はここまで。

次回は聖杯戦争までの3年間を倍速で進めます。さつさと本編に入りましょう。

では、サラダバー。

時計塔2年経過+

すぐに崩壊する武闘場の管理者をするRTA、はーじまーるよー。

前回【時計塔講師√】とかいう、何が起るか分からない様な√に突入した所で終わりました。

なのですが、ひたすら代わり映えない画面を流すのも何なので…

みなさんのためにい・・・

こんな動画をご用意しましたあ。

プハー、今日も良いてん…。お前はお呼びじやねえんだコラ。

えー、クツキー☆上映会とか先駆者兄貴達の二番煎じ以外の何物でもないので、一度走破した【機械仕掛けの神^{デウス・エクスマキナ}√】のRTA解説を行います。やる事は至って簡単です。

待ちます。

ただ待ちます。

ひたすら待ちます。

それだけです。

実際走ってみると、それ以外やる事がありません。私も途中で『GhOne is gone』のRTAやってみました。Steamで100円なので、みんな、やろう！
まあ、この√は途中で別ゲーのRTAやるほど暇な、実況者殺しの√なんでね。

… 失礼、解説に戻りましょう。

取り敢えずプレイキャラが死なない様にしながら、柱の魔神^男たちによつて人理が焼却されるまで待ちます。

そして2015年の年末になった所で、なるべく世界の主要都市から離れましょう。理由は人理焼却が世界の主要都市から拡散していくため、それに巻き込まれないようにするからです。

さて、画面の方では人理焼却が始まりました。それと同時に起源：【機械仕掛けの神】^{デウス・エクス・マキナ}が勝手に起動しましたね。

さてこの起源【機械仕掛けの神】^{デウス・エクス・マキナ}なのですが、通常では役に立たない代わりに、異常時に効果が発揮されます。おおよその所を簡条書きにすると、

・【起動プロトコル】

世界の主要都市半数の崩壊、または10分間における世界の死者数が1000万人を超えるといった、Kークラス世界崩壊シナリオが始まった時、この起源は起動する。

・【排除プロトコル】

Kークラス世界崩壊シナリオの原因をスクラントン現実錨再現実験に則り、次元の狭間へ幽閉する。

・【再編プロトコル】

崩壊した都市の中心に、トリウム原子炉を中心とした施設が出現する。

・【再構築プロトコル】

施設を中心としてその場所に栄えていた文明の再構築、並びに保存されていたDNAパターンから人類を再構築する。

・【改変プロトコル】

施設からアンニユイと呼ばれる何かを地表に放出し、それまでに起こった異常事象を無かったことに改変する。

・【耐性付与プロトコル】

最後に施設が崩壊することで、その異常事象に対する耐性を地球に与える。

といった感じに、「SCP-2000」を元に起源が発揮します。明らかに対ビースト以外の何者でもありませんね…

また最初の「起動プロトコル」に関する、Kークラス世界崩壊シナリオは種類が多いので、対応力が「SCP-2000」よりダンチなんですよねえ。

そんなことを言っているうちに… はい、世界が復興しました。もう焼ける事はありません。ザマア！

…さて、2017年になりました。

この世界ではレ／／フによる爆破テロも「デウス・エクス・マキナ機械仕掛けの神」で無かったことになっているので、Aチームはクリプターになりません。どういうこつたよ。

なので異星の神は、世界の主要都市にそのまま空想樹を降らしてきます。

… 来ましたね。空想樹が地表に着いた瞬間に起源が勝手に起動しました。（空想樹は）閉まっちゃおうねえ。

はい、そしてその原因の異星神も次元の狭間へお帰り願いましょう。テメエなんか光の速さでクーリングオフだゴルア！

… 終わりました。

タアイムは33年2ヶ月17日です。

まあ、所々見ていただければ分かると思うんですけど、絵的に地味で画面映えしないので、今までこうしてうpしませんでした。

：… ほんへに戻りましょう。

現在時計塔に来てから2年が経ったところです。現在のステータスはこんな感じ。

【状態】

プレイヤー名：シヤンク・スクラントン

筋力：B+

耐久：B-

敏捷：C+

魔力：B

幸運：C

宝具：-

精神力：57/100

起源：【錨】・【溝】・【??】の悪と【??】の善

所持スキル：【綺麗好き】・【5/710-JP-J】・【管理／調停】・【胃痛持ち】・【嚮導】

装備：なし

だいぶ良い感じに仕上がってきました。（筋肉）

幸運と宝具はほとんど関係ないので、敏捷を最低でもBまで上昇させたい。

…しかし精神力がだいぶ削れてますね。

精神力は現在値が最大値の7割以上である時、【状態】画面上には表示されません。

多分、生徒側ではなく講師側というケツ持ち役になつたためだと思います。後は幾度

となく崩壊する武闘場の再構築が原因ですかね。

胃を痛めるのはロードIIエルメロイII世だけで十分なんだよなあ…

さて、所持スキルを見てみましょう。

【管理／調停】・【胃痛持ち】・【嚮導】のスキルが増えています。

【管理／調停】は、戦闘に第三勢力として介入した際に、一時的に戦闘を停止できるスキルです。また、戦闘再開時に確実に先手を取れる副次的な効果もあります。

【胃痛持ち】は完全なバッドステータスです。これは何らかの異常事態が発生した際に、1〜10の間のランダムな数だけ精神力が減少します。【頭痛持ち】や【病弱】より厄介

なんですすよねコレ。

最後に【嚮導】ですが、これは完璧に死にスキルです。なぜかと言うと、この【嚮導】は『同じ陣営のメンバーを指揮すると、自分を含めた各メンバーのステータスが上昇。指揮をした戦闘終了時に得られる信頼度にも上昇補正がかかる』という効果なんです。このキャラは【5/710-JP-J】持ちのバリバリ前衛なので、あまり指揮するタイミングがないんですよね。

ですがFGOほんへでは、これがあると凄く攻略が楽になります。信頼度最大…？アツ、ふーん…（察し）

まあ、信頼度最大の欠点は他の実況者のRTAを見れば分かると思います。（チャート崩壊だね、分かるとも！）

とまあ、こんな感じですよ。

次回は聖杯戦争の半年前まで進め、完走に向けて準備を始めます。
じゃ、サラダバー。

サーヴァント選定

戦闘RPGなのに今まで1回も戦闘が起こっていないクソザコRTA、はーじまーるよー。

前回は、2年経過して現在の状況を確認したところで終わりました。

今回は聖杯戦争に向けての最後の準備を開始します。

具体的な内容としては【5/710-JP-J】の修正と、触媒の確保です。まあ触媒はサーヴァントのクラスを絞るのに必要だからなんで、最悪なくても構いませんが。

さて、これが現在の【5/710-JP-J】の習得奥義です。

【5/710-JP-J】

- ・解放礼儀
- ・共振パンチ
- ・共振遠当て
- ・テレポ遠当て
- ・爆風キャンセリング

- ・ 確率論的回避
- ・ 量子歩法
- ・ 量子指弾
- ・ 臨界パンチ
- ・ 元素功法
- ・ 鰻猫拳
- ・ 虚喰掌握
- ・ 天殺・認識災害の構え
- ・ 喰期玉
- ・ ミーム的影分身の術
- ・ 明鏡歩法
- ・ 走査型擬似プローブ中高一本拳
- ・ 力学的反射拳

…… うーん、一応これだけあればサーヴァントとタイマンでも勝負にはなりますが、いかんせんこっちは攻撃を1発喰らったらヤバイので、あと半年でせめて『秘伝【剛力・羅漢の構え】』を修得したいところです。

まあ、後はなるようになるでしょう。

次に召喚用の触媒ですが、かなり面倒です。

まず第一にこのキャラはバリツバリの前衛なので、なるべく後方支援型、特にキャスターのサーヴァントが欲しい。

ですが今回の聖杯戦争は、マリスピリーおじさんが『ソロモンの指輪』というこれ以上ない触媒を用意しているので、確実にキャスターのクラスはソロモンで埋まります。

また、セイバー・ランサー・ライダー・バーサーカーのクラスはこれまたバリツバリの前衛なので、仕事が被る上に短期間で連携攻撃が出来る様になるほど甘くはありません。

なので出来るなら戦闘時に後方支援の出来るアーチャー、または最低でも通常時における諜報が可能なアサシンを採用したい訳です。

あと例外で『北欧・ケルト神話』のサーヴァントならば、バーサーカー以外だと採用範囲に入ります。

理由を言うと、北欧・ケルト神話における高名なサーヴァントだと大抵の場合スキルとして【ルーン魔術】を持っているからです。

特に『ワルキューレ』、『シグルド』、『ブリュンヒルデ』、『スカサハ』、『クー・フリー

ン』、『スカサハ』スカディ』の持つスキル「原初のルーン」は非常に強力で、戦闘時のバフとしては最高のポテンシャルを誇ります。

ですが、『ワルキューレ』は余程の事態でない限り呼べず、『シグルド』を呼ぶと悪竜現象が起こりやすくなり、『ブリュンヒルデ』は好感度調整をミスるとシグルド判定で殺され、『スカサハ』はまだ死んでないので呼べず、『スカサハ』スカディ』はキャスターのクラスが埋まる上に、北欧異聞帯が成立していないので呼べません。

こうなるとニキ一択です。

が、キャスニキは枠がなく、オルタニキは確実にいうこと聞かないので、槍ニキかプロトニキのどちらかが対象です。

取り敢えず槍ニキを第一候補としてやっていきます。

いざとなれば、アトゴウラ不退転さんを元に召喚陣を描きましょう。それで多分なんとかなる。では半年ほど倍速しましょう。

…
倍速中…

えー、半年経過して聖杯戦争半年前になりました。

右手に令呪の前段階である、聖痕ほい痣が出てきたので、どうやら大聖杯のお眼鏡に叶った様です。やったぜ。

さて、倍速前から半年経過した現在のステータスがこちら。

【状態】

プレイヤー名：シヤンク・スクラントン

筋力：B+

耐久：B

敏捷：B-

魔力：B

幸運：C

宝具：—

起源：【錨】・【溝】・【??の悪と??の?善】

所持スキル：【綺麗好き】・【5/710—J P—J】・【管理／調停】・【胃痛持ち】・【嚮導】・【射撃戦攻撃】

装備：なし

… 一応目標値を達成できましたねえ。【5/710—J P—J】も【剛力・羅漢の構え】を習得して、ほぼ万全の状態まで成長しました。

ここから能力を成長させるという事はほぼ無いでしょう。

後はスキルに【射撃戦攻撃】が生えてますね… このあと少しオリチャーを混ぜましょう。大して時間もかからないし、もしかしたら戦力増強チートSCiPがゲット出来るかもしれないので。

そして聖遺物の収集ですが、どうやら上手く行った様で、無事に槍ニキの槍の欠片を入手できました。（何もかも上手く行き過ぎて）笑っちゃうんすよね…

取り敢えず一旦時計塔パートを終了して自宅へ戻り、聖杯戦争の準備を始めましよ

う。

では自宅へ移動。相変わらず（移動シーンなど）フヨウラ！

く伝承者移動中く

自宅へ着きました。

ここで【走査型擬似プローブ中高一本拳】を家へ叩き込み、家の構造を把握しましよ
う。

＞あなたは自宅に【走査型擬似プローブ中高一本拳】を叩き込んだ。

＞… どうやら地下に小さな空間があるようだ。

ビンゴ。

自宅の庭から空間までの土を掘り抜き、空間の壁を【量子歩法】ですり抜けて内部へ
と侵入しましょう。お邪魔しまーす…（小声）

>あなたは庭に出て、一人が立てる穴を掘り抜いた。

>土の壁に手を当てると、何やら硬いコンクリートの様な感触がする。

>あなたは【量子歩法】でその壁をすり抜けた。

∴ 今回はここまで。

では次回までサラダバー。

武器屋

何やら世界の事象が不穏なRTA、はーじまーるよー。

前回は自宅地下の謎の空間に侵入したところで終わったので、そこから再開です。

>そこには4本の柱で支えられた空間が広がっていた。

>その柱の対角線を結んだ位置に、「何か」が置かれている。

イツタイナンナンダロウネー… 取り敢えず確認しないと先に進まないの、確認しましょう。

>あなたは「何か」に近づいた。

>それはどうやらアタツシユケースの様だ。

>アタツシユケースを開けますか？

↓はい　　いいえ

>あなたはアタツシユケースを開けた。

>そこには数枚の紙、整備されたりボルバー、それ専用と思われるホルスターが入っていた。

……

紙を確認しましょう。

>あなたは紙を読んだ。

d e a r これを読んでいるあなた

我々は、失敗した。

あの滅びを、止める事は、出来なかった。

我々は、最後の望みを掛け、「最後の手段」を起動した。
それでもなお、人類は、滅びを、繰り返すだろう。

あの災厄は、なんであろうと、我々人類を、繰り返し、滅ぼす。
繰り返した先に、我々が、存在しているとは、限らない。

だから、頼む。

我々の望みを、これを読んでいる、あなたに、託す。

我々が、k e t e rと呼んだ、この拳銃なにかと共に。

この滅びの、連鎖を、止めてくれ。

そして、その連鎖を、止めようとした、存在が、いたことを、つたえてくれ。

われわれを、わすれないでくれ。

f r o m 最後の一人

… ガンギマってますねえ。これは間違いない。

という訳で、オブジェクト【SCP-710-JP】こと、【タイムマシンリボルバー】を手に入れました。

【710-JP】は通常のS&W社製M19コンバットマグナムと同様に使える一方で、発射した弾丸を任意の時間へ跳ばす事も出来るオブジェクトです。

使用可能な弾丸が、380スペシャルと、357マグナムなのは、通常のM19と変わりません。

あと何故かは知りませんが、普通【710-JP】が2インチ型なのに対して、この【710-JP】は6インチ型の消音器付きにカスタムされています。これは嬉しい誤算だあ…

… さて、皆さんの中には何故【710-JP】がここにあり、わざわざ取りに来たのか疑問に思う人もいるでしょう。

その理由は【710-JP】の戦闘時における汎用性にあります。

まず弾丸を任意の時間へ跳ばす【時間跳躍】は、現在から未来はともかく過去へ跳ばす事も可能で、相手に対して意識外からの一撃を食らわせる事が出来ます。

また過去に向けて飛ばした場合、その延長線上にいた【何か】に命中したという【結

果」だけが残ります。

次にその特性を利用した戦術が取れます。

弾丸を未来へ送る事による時間差攻撃、神拳・魔術・射撃の3つの要素を織り交ぜた攻撃、弾丸に魔術刻印を仕込んで対サーヴアント戦に使用するなど、多種多様な戦術が組み立てれるんですね。

あとは・・・初見殺しが可能です。

だから、これを取りに来る必要があつたんですね。

とは言っても弾がなければ役に立たないので、このあと買いに行きましよう。実は他の走者も利用している武器屋のおじさん、この時代にもいるんですね・・・まだ若いですけど。

てな訳で時計塔へ戻るついでに武器屋に行きましよう。

く伝承者移動中く

時計塔へ戻りましたので、早速武器屋へ行きましょう。

既に聖痕が手の甲に発生している事は聖堂教会にバレているので、一度地上へ出て適当な場所で自分の【存在証明】を起源：【溝】で現世から隔離します。

こうしておくとも自分の存在が希薄となるので、教会監視を撤く事が出来ます。

>あなたは【存在証明】を隔離した。

>どうやら追跡者を撤けたようだ。

∴ 成功です。では、（武器屋のいる路地裏に）イクゾー。

>あなたはとある路地裏へ入った。

>黒いローブを着た男が、木箱へ腰掛けているのが見える。

居ました。あれが我ら走者の味方である、15年前の武器屋のおじさんです。

オツスオツス、サンパチとマグナムを買いに来たぞー。

>あなたはその男に話しかけた。

「男はあなたを一瞥すると、向きを直し相對する。

「お前か……魔術師がウチに何の用だ？」

そんなのサンパチスペシャルとマグナム買うためにに決まってるよなあ？

「……ふん、まあ良い。それぞれ幾ら必要だ？」

とりまそれぞれ1カートンずつですかね？あまり数が多くても、魔術刻印を仕込むのは面倒なんで。

「……わかった。あとコレはオマケだ。持っていけ」

「おや？何か貰いましたね。」

「あなたは紙幣と引き換えに、380スペシャルと、357マグナムを1カートン、何か特殊な、380スペシャル弾を30発、不思議な本を貰った。

「コイツは教会のエクソシストの連中が使っている【法儀式済み水銀弾】だ……まあ、化

けモン相手には丁度良いだろうな」

【法儀式済み水銀弾】ですか：：これは魔性と反英霊特攻の【射撃戦攻撃】用の消耗品です。コレは魔術刻印無しでも、英霊相手にでも充分に威力を発揮しますので、これは良いものを貰いましたね。

「そしてアンタが持っている本は：：いや、辞めておこう。取り敢えず持ってけ」
> そう言うと、男は路地裏の奥へと消えていった。

何でしょうか、この思わせ振りの反応は：：取り敢えず自室へ戻って、中身を確認しましょう。

く 伝承者移動中く

時計塔の自室へと戻って来ました。
早速本の中身を確認しましょう…

>あなたは本を開けた。

>その本はルーン文字で書かれている…

なんスカこれ。

まさかの『Liber Primus [Cicada3301]』と呼ばれるパズルに出ってくる、実在する未出版の本。内容が全てルーン文字で書かれている。』と同じ様にルーン文字で書かれているとか…

>あなたはその本を半分まで読み進めた。

>何やら頭がスツキリする感覚を覚えた。

… どうやら使用すると精神力が回復するみたいですね。しかしwikiにもこんなアイテム載ってなかったぞ…？

まあ、取り敢えず今回はここまで。

次回は購入した弾に刻印の仕込みを行うのと、マリスビリーおじさんに協力を持ちかけに行きます。

では、サラダバー。

下準備

他の走者と同じ様にサーヴァントでガバるRTA、はーじまーるよー。嘘です。そんな事しません。しないっいたらしないで。 (盛大なフラグ)

さて前回ですが、ルーン文書の内容を確認した所で終わりました。

(何故こんな物を貰ったのか) コレガワカラナイ。

あの後そのアイテムについて調べてみたのですが、よく見たらwikiに載っている代物でした。でも、精神力を回復するなんて効果、書いてなかったんだよなあ……？

…… まあ気にしていても状況は変わりません。さっさと進めましょう。

今回は前回の最後に言った通り、魔術刻印の仕込みとマリスビリーおじさんとの協力の関係の構築を行い、聖杯戦争の1ヶ月前まで進めて日本へ渡ります。

始めに購入した、380弾と、357弾に魔術刻印を施します。

このゲームにおける弾薬1カートンは240発分、つまりリロード40回分です。し

かしスキル【刻印魔術】を獲得していないので、成功する期待値はそれぞれ約80%から約60%に減少し、およそ144発が手元に残ります。

まあそれぞれリロード24回分あれば充分なので、これだけ購入した訳です。では、イクゾー。

>あなたは購入した。380と、357を全て取り出した。

>あなたは弾丸に刻印を入れると、魔力を流して魔力弾を工作する。

く伝承者仕込中く

終わりました。

おおよそ期待値通りの結果ですね。

・ 380がリロード25回の180発分、357がリロード23回の138発分完成しました。ここでガバる訳にはいかない。

震え、凍てつき、砕け散る時まで、諦める事は許さんぞ？フッフ……

…… 何か聞こえた気がしますけど、多分空耳でしょう。俺がガバってないって言ったなら、ガバってないんだ！

さて工作も終わったので、天体科へ赴きましょう。移動シーンは前に行った時と変わらないので、カット！

く伝承者移動中く

天体科の学部長室へ到着しました。ノックして入りましょう。4回ノックは常識としてこれ一番言われてるから。

＞あなたは天体科の学部長室の扉をノックした。

＞学部長の声が入室を促している。

オツス失礼します。

＞あなたは学部長室へ入室する。

＞部屋の中には2人の男と少女が、ソファアに座っている。

「あつ、スクラントンさん！こんにちは！」

「こんにちは所長。所長は変わらんねえ……ん？あるえ？あの濃緑クソダサコートに、もみあげジャングル大帝は……？」

「よく来たね、スクラントン君。紹介しよう、彼はレフ。レフライノールだ」
「君がかの【武人】君かい？」

「私はレフライノール。マリスビリーの古い友人で、しがない魔術師をしている者だ」

「……ええ、ええ、無論知ってますとも。」

「これまで数多くの走者にガバを齎らし、プレイアブルマスターの管制室ダツシユにおいて彼らを初見殺しで屠ってきた、かの名高いレ／＼フさんじゃないですか！」

「こんにちは、氏ね！（語彙力低下）」

「ここはすぐに起源【溝】で他の起源を隔離しましょう。ここでバレたら魔神柱が殴り

込んでくる可能性が微レ存…

>あなたは起源：【溝】を行使し、他の起源を現世から隔離した。

「私はこれにて発つとしよう。ではなマリスビリー」

>レフはソファアー立ち、あなたの右隣をすり抜けて退室した。

…セーフです。ここで、レ／／フが何らかのアクションを起こした場合、バレたので再走案件。

今回は多分右手甲の聖痕の存在はバレましたが、起源についてはバレなかった様です。ありがてえ…とは言っても、ここで話していたらバレる可能性があるので、部屋を隔離しましょう。

>マリスビリーはあなたの右手を見ると、破顔した。

「どうやら君も、聖杯戦争へ選ばれたようだね。それを敵対する筈の私に見せてどうするつもりだい？」

（別段敵対するつもりも）ないです。でもどうせなら…組みませんか？

「……ほう」

元々魔術戦はともかく、こっちは近接戦においては無類の強さは誇ってますし、サーヴァント同士タイマンで戦うより2対1で戦った方が勝率が上がるし、負担も少ないでしょ？て事でオナシヤス！

＞あなたはマリスビリーを説得した。

「……なるほど、確かに利点はある。だが最後の2人になってしまった場合、どうするつもりかね？それに裏切りまで考慮しなくてはならんな？」

＞マリスビリーはあなたを挑戦する目で見返す。

それはその時に考えればいい事では？

裏切りについては双方で自己強制証明セルフ・ギアス・スクロール結べば大丈夫でしょ。

「……君はそんな簡単に魔術師が自己強制証明セルフ・ギアス・スクロールを結ぶと思っているのかい？」

そう思ってる魔術師がここにいるわけですが何か？

「……………フ、フフフ、フハハハハッ！」

「……………お父様？」

「確かにその通りだよ、スクラントン君。その口車に乗せられようか。私も丁度君とは争いたくなかったからね」

よっしゃ！成功だぜ！

いやあ、成功する予定でしたが、ここまですんなり行くのは予想外でしたね。これはいいタイム行きますよお〜。

＞あなたは鞆から2枚の羊皮紙を取り出すと、1枚をマリスビリーへ渡し、魔力を込めて【セルフ・ギアス・スクロール自己強制証明】を書き出した。

＞あなたが書き終わると同じくして、マリスビリーも筆を置く。

「では内容確認だ。」

・此度の聖杯戦争において、マリスビリーIIアニムスファイアとシャンクIIスクラントンは協力関係を結ぶ。

・上記の制約に基づいて情報の共有を行い、戦闘において可能な限りの共闘を行う。
・どちらかが聖杯戦争を脱落、または双方が最後の2人となった時、これらの制約は失効する。

「これでいいかね？」

ありがとナス！これで5割方やる事は終わりとなります。前準備が長いんだよ。

＞あなたは自己強制証明の内容を詳細まで確認した。

＞あなたはマリスビリーの署名が書かれた2枚の羊皮紙に署名をすると、一方をマリスビリーへ手渡した。

・・・ 工事完了です。

「また会うのは多分冬木になるだろう。それまでに分かった事があれば、こちらに教えてくれ。無論、こちらで何か分かったら君にも教えよう」

いやー、情報が手に入るのではありませんね。どうしても諜報や情報戦はアサシン

クラスの独壇場なので、これで他のマスターにアドが取れます。

てな事で今回はここまで。次回は遂に冬木上陸……の前にサーヴァントの召喚を行います。決して他の走者みたくに

『やったねマスターちゃん！家族が増えるよ！』

みたいなガバは起こさせないし、起こさせない。(鋼の意思)

では、サラダバー。

「良かったのか、マリスビリー？」

「！」

「何がだ？」

青年が去った部屋に疑問を溢す若い男の声が響く。その声を聞いてオルガマリーは身を竦めるが、マリスビリーは怪訝な顔をしてその声に応えていた。

「ああもうオルガマリー、いつもそんなに怯えなくても良いじゃないか……ともかく彼と協力関係を結んだことについてだ」

「……現在の時計塔は12の君主^{ロード}が存在するが、それは単純な力関係によるものではない。」

確かに力も選定基準に入るだろうが、それ以上に血族と研究の結果がモノを言う」

そうマリスビリーは温くなった紅茶を飲みながら説明を始める。青年はその特異性故に説明に無駄を感じつつも、その説明に耳を傾ける。

「……それで？」

「今ので大体は察しただろう？彼は現時点の時計塔において階位こそ持たない現代魔術科非常勤講師だが、単純な戦闘力においては非常に高い……いや、我々君主^{ロード}以上の存

在だ」

「成る程。【溝】という異質にも程がある起源に、更にそれによって隠された【錨】、それと私ですら読み解けない謎の起源、か。そのせいか私の千里眼も未来が見え難い……」

「……余り彼を敵に回したく無い。だからこそ彼の提案を受け入れた」

「首輪を着けるために自らも嵌ろうという訳だ。人間の考える事は何とも御し難い」

青年はマリスビリーのその言葉に何とも言えない表情を示すと、スツと手を上げる。それと同時に部屋を囲んだ空間からガラスが割れる様な音が反響する。

「【隔絶】の結界か……まさに彼にお逃え向きだ」

「彼自身、自分の情報を他人に見せたくは無いのだろうか」

マリスビリーがそう嘆息を吐くと、青年はオルガマリーの隣のソファアへと腰掛けて紅茶を啜る。

（フラウロス……いや、魔術術式ゲーティアめ一体何を考えている？）

青年は迫り来るであろう未来に、頭を悩ませていた……

召喚

第7回にしてようやくとサーヴァントを召喚するRTA、はーじまーるよ。
今回のRTAで召喚したいのはこちら！

『ランサーが死んだ！』

『『『この人でなし!!!』』』

で有名な頼れる槍ニキこと「クー・フリーン」です。理由については何回か前に説明したので、確認していない方は、どうぞ。(露骨なステマ)

さて一通り導入も済んだ所で現在何をしているかと言いますと、右手の甲に令呪がはつきりと浮かんだので、サーヴァント召喚の為にアイルランドへやって来ました。

そういや令呪が発現する時って、少し体力減るんですよ…ここがほんへと外伝の違い所さんですね。ほんへはレイシフトがあるのでその時に発現されるのだと予想されてますが、外伝だと聖痕から令呪が発現するので痛みを感じるらしいです。

そんな事はさておき、アイルランドに到着しました。夜も更けて参りましたので、適当な宿を取って翌日の召喚に備えましょう。なぜすぐに召喚を行わないのかは、翌日に説明します。

さて、寝ているうちにステータスを確認しましょう。現在はこんな感じとなっております。

【状態】

プレイヤー名：シヤンク・スクラントン

筋力：B+

耐久：B

敏捷：B-

魔力：B+

幸運：C

宝具：-

起源：【錨】・【溝】・【??】の悪と??の?善

所持スキル：【綺麗好き】・【5/710-JP-J】・【管理/調停】・【胃痛持ち】・【嚮

導】・【射撃戦攻撃】

装備：【SCP-710-JP】（380弾6発装填済）

所持品：380弾×174発、357弾×138発、380法儀式済み水銀弾×

30発、自己強制証明、因果の死棘槍の残骸、ドルム・シユネフタの冊子（写本）

うーん、これは良い仕上がりだあ…後は戦闘において【財団神拳】奥義の使い所さんを間違えなければ、なるようになるでしょう。

ちなみに「ドルム・シユネフタの冊子（写本）」は古いルーン文書の正式名称です。でもルーン文字では書かれていないはずなんですよねえ…まあ変な物好きでもいたんでしよう。

それではオヤスマー（ゴーストドライバー）

「この私から逃げるなよ…？」

オッハー!!!（迫真）

さあ遂にこの日がやってまいりました。予め召喚に適した霊脈は探してありますので、近くまで移動しておきましょう。

この世界において個人の持つ魔力には波が存在し、刻一刻と変化していきます。なのでその波が最も高い位置で魔術行使を行うと、通常時より効果が高く現れます。

イメージしてもらえば、UBWで凜が時間関係でうっかりをやらかしてアーチャーを呼んだシーン、と言うと分かりやすいかもしれません。

だからすぐに召喚を行う必要がなかったんですね。(逆メガトン構文)

自分は午前0時に1番高まる様に設定しています。

ちなみにこれはプレイする現在時間が朝型か夜型である程度固定することが可能です。

…さてそんな事を駄弁っているうちに到着しました。アルスター地方のベルファスト近郊に位置する霊脈の通った森の中です。

では、始めましょう。

手始めに持参した召喚陣を元に3倍ほど拡大した召喚陣を、指を切つて血で地面に描きます。

これは召喚陣そのものに自分の魔力を混ぜる事で、ある程度思考が結果に反映されるためです。

＞あなたは右手の指を切ると、伝う血を使って召喚陣を描いた。

描き終わったら、自分の立ち位置とは対角線上に触媒の【因果の死棘槍の残骸】を置きます。

> 少しずつ魔力が抜けていくのを感じる。

ちなみに止血はしません。これは召喚陣に自分を認識させるためです。

最後に召喚の詠唱を行います。

スキップしたいのは山々なんですが、これスキップできない様になってるんですねえ…。なのでこのまま垂れ流します。

> あなたは右手を前に出し、詠唱を始めた――

「素に銀と鉄。礎に石と契約の大公。

降り立つ風には壁を。四方の門は閉じ、王冠より出で、王国に至る三叉路は循環せよ」

> さらに魔力が抜けていくのを感じると同時に、霊脈から魔力が召喚陣に流れ込んでいく。

別段異常はないようですね…。頼むからこのまま問題なく終わってください。

「閉じよ。閉じよ。閉じよ。閉じよ。閉じよ。」

繰り返すつどに五度。

ただ、満たされる刻を破却する——」

＞その瞬間「ドルム・シユネフタの冊子」が鞆から飛び出した。
ん？

「—— Le a g t h a ^{セッ}アイルランド語」

ちよ、ちよつと待っててください!?! (クレーマー並感)

「—— 告げる。」

汝の身は我が下に、我が命運は汝の赤枝の槍に。

聖杯の寄るべに従い、この意、この理に従うならば応えよ」

＞冊子は一枚ずつページへ分解され、まるで雪のように召喚陣の周辺を漂う。
待って！助けて！待っててください！お願いします!!

「誓いを此処に。

我は常世総ての善と成る者、

我は常世総ての悪を敷く者。

汝三大の言霊を纏う七天、

抑止の輪より来たれ、天秤の守り手よ——！」

「久しぶりだな、
勇士^{エインヘリヤル}……
いや、マスターか」

……
へっ？

「サーヴァント・キャスター、真名「スカサハ」。召喚の招きに応じ参上した。どれ、久方ぶりに稽古をつけてやろう。なに、私を忘れたとは言わせんぞ？」

……
なんでさあ。